

PDCA	事務事業名	通学路安全対策事業	部課等名	建設部土木課	建設担当	担当 内線等	鶴飼 437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第1節 安全・安心な社会の形成						
		基本施策： 4. 交通安全対策						
		単位施策： (2) 道路安全性の向上						
根拠法令等	個別施策： ②通学路の安全対策の推進							
対象・目的	市内一円の通学路の安全確保							
目的を達成するための手段・活動内容	路肩のカラー化や側溝蓋の設置を行い、児童が安全に歩行できる通学路の整備を実施する。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①通学路整備路線数			6	6	路線	
		事業費			63,552	101,783	千円	
		人件費			3,419	4,593	千円	
		総事業費		0	66,971	106,376	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①通学路整備1路線当たりコスト			11,162	17,729	千円	
	成果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①法定通学路整備率	実績値		98.0	100.0	%	
			目標値		98.0	100.0		
			実績値					
			目標値					
			実績値					
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B						
		法定通学路6路線の整備を実施し、全ての法定通学路の安全対策を完了した。また、大津市の交通事故を受け、令和元年度に未就学児の通園路の緊急点検を実施し、令和2年度に危険箇所の安全対策を実施した。今後は、学校指定通学路の安全対策を実施するとともに、路肩のカラー塗装や区画線など路面標示の引き直しを適切に行い、安全性を継続していく必要がある。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
			令和3年度から新たに小学校が指定する通学路の整備に着手し、児童の安全な歩行空間を確保する。					
		令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位
			①学校指定通学路整備率				61.7	%